

2026年4月度 中部品質工学研究会 議事録

- 開催日時 2026/4/4 (土) 10:00~16:00
- 開催場所 中部品質管理協会
- 会員参加者<敬称略> S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	伊藤	S	舟山	S	出島	L	水田	S
山口(展)	S	黒田	書	山口(直)	S	前田	S	木村	S	北村専務	S				
河合	休	杉浦	休	福田	休	池田	休								

4. 研究会内容

1) 「RQES2026発表用論文のレビュー」 (山口展)

内容について、以下のアドバイスを頂いた。

- ①オーガナイズドセッション紹介文のアブストラクトの文言の修正
 - ②本文中の表現について、読み手が誤解しないよう表現を変更
 - ③文章が長いところは箇条書きなどで主張のポイントを示す
 - ④誤字脱字文字大きき改行位置の調整
- 上記を修整し、4/10までに提出する。

2) 「事例相談：実務における基本機能定義の検討」 (水田)

開発製品の基本性能の検証について相談した。

品質工学を用いた場合の、基本機能について議論した。

結論として、

- ①依頼元の検証目的をまずは明確にすること
 - ②基本性能とスペックを混同しないこと
 - ③基本機能で検証した場合、基本性能をいくつか検証したことにもなり得る
- これらを整理して再度相談に持ちかけることとする

3) 「RQES2026発表資料検討：全体+紙コプター」 (舟山)

RQES2026Sでの発表予定の「パラメータ設計演習用教材開発に関する活動報告」の予稿について全体構成と紙コプターの部分の相談を行った。

全体部分については「ワイガヤがはかどる」などの表現の見直し、紙コプター部分については、確認実験の現行条件の乖離について触れるなどアドバイスにしたがって改訂を行っていく。

4) 「RQES2026発表資料検討：コマ実験セット」 (木村)

RQES2026Sにて発表予定の「パラメータ設計演習用教材開発に関する活動報告」に関し、

予稿に掲載するコマ実験の内容について共有した。

その結果、

- ・寄与率による評価ではなく分散比による評価を採用した方が適切であること
- ・利得の差については%表示とすること

などの助言をいただいた。

これらを踏まえ、内容を再確認のうえ資料の修正を行う。

5) 事務局連絡

- ・2026年度の研究会日程、各種当番表を発表
→輪講当番表は一部間違いがあったので修正。
- ・今期の会員：全13名。名簿で変更箇所があれば出島さんへ連絡する。
- ・役割の変更
幹事：城越さん→水田さん、事務局：出島さん→山口展さん
- ・対外関係
合同研究会(5/15)：城越さんが発表。
代議員：大見さん、山口直さんが選出されました。
- ・覚書内容更新
7. 定例会議事録の作成についてを追加